

平成24年度事務事業評価シート (23年度実施事業分)

事業番号	07 03 06	中期総合計画主要施策番号	2-02	担当課	部・課	観光部観光振興課	
事業名	信州まつもとと空港と連携した周遊観光推進事業				内線	3541	
					E-mail	kankoshin@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	H22 ~	根拠法令等	「信州まつもとと空港と連携した周遊観光推進事業」実施要領				
実施方法	(社)信州・長野県観光協会へ負担金を交付し実施					国庫・県単	県単独事業
事業の概要等	目的(必要性)	信州まつもとと空港から定期便が就航している福岡で長野県の観光PRを行うことにより、県内観光地の認知度を向上させ、長野県への誘客を図る。					
	対象	九州、特に福岡からの観光客					
	目指すべき姿	福岡で長野県ならではの観光資源の魅力をPRし、信州まつもとと空港を利用した県内への誘客に結びつける。					
	事業内容	・PRイベントの開催 ・福岡地区旅行商談会の開催 ・メディア・エージェントリップの開催					
事業コスト	区分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳 ・負担金:4,133千円(県観光協会)
	最終予算額 (A)		千円	3,364	4,133	4,056	
	決算額 (B)		千円	3,254	4,133		
	B(H24はA)のうち一般財源		千円	3,254	4,133	4,056	
	概算人件費	従事する職員数	人	0.50	0.50	0.50	
	概算人件費 (C)		千円	4,159	4,129	4,129	
概算事業費 (B(H24はA) + C)		千円	7,413	8,262	8,185		
事業実績	成果指標・活動指標内容		単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績
	PRイベントの開催(活)		回	1	3	2	・物産展開催の際に信州まつもとと空港のPRを行った。 (効率指標 算出式) PRイベントの開催経費 / 開催回数
	旅行商談会の開催(活)		回	1	1	1	
	旅行商談会の参加業者数(活)		社	14	15	16	
	<効率指標(単位当たりコスト等)> PRイベントの開催		千円/回	2,498	1,378	2,028	
事業の成果	事業の目標(H23)			事業成果・評価			評価区分
	平成22年度(FDA就航1年目)の福岡線の利用率を上回る。 (参考:信州まつもとと空港の目標搭乗率65%)			・福岡線利用者数 利用者 34,357人(H22 24,638人) 利用率 62.2%(H22 47.7%)			b 期待どおり
事業の課題	区分		判定・説明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明	・福岡線の利用率は低い状況であるので、引き続き事業を実施する必要がある。 ・FDAは信州まつもとと空港に乗り入れる唯一の航空会社のため、利用率が向上するまで当面支援する必要がある。 ・イベント開催についてより効果的にPRできる場所など検討する余地がある。	
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			
総合分析等	総合分析(今後の課題、取組方針等)		・集客が期待されるJ2松本山雅FCの九州でのゲーム等で、県内観光地や農産物・県産品等の情報を発信し、県全体のPRを実施していく。				
	特記事項						